

あいな れんけいすいしんかいぎけつ か がいよう しょう しゃしえんしせつ
愛名やまゆり園地域連携推進会議結果の概要【障がい者支援施設】

- 1 日 時 令和7年9月26日（金）10時～12時
- 2 場 所 愛名やまゆり園会議室
- 3 参加者 愛名やまゆり園：管理者、サービス管理責任者等 7名
委員：利用者、利用者家族、地域の関係者、福祉に知見がある方 5名
- 4 概 要

(1) 地域連携推進会議について

【主な説明】

- ・ 会議の目的の確認（利用者との関係づくり、地域の方への施設等や利用者に関する理解の促進、施設等やサービスの透明性・質の確保、利用者の権利擁護）
- ・ 年に2回実施。1回は会議、もう1回は施設訪問。今年度は初めてなので会議を先に実施するが、次年度からは先に施設訪問をしていただいた後に、会議を開催しご意見等伺いたい。
- ・ 議事録を作成して公表する。会議ののち作成した議事録を、各委員にご確認いただきからホームページで公表予定。
- ・ このかいぎは、ちいきのかたとなかよくするためのばです
- ・ えんでのせいかつのこと、やりたいことやえんやしよくいんへのようぼうなどきかせてください。

【委員のご意見】

- ・ アイスcreamが好き、伊勢原のグループホームへ行きたいと考えていたけど、愛名やまゆり園で新しいグループホームができるはなしをきいて、あたらしいほーむにいきたいとおもっている。
- ・ マクドナルドに行きたい
⇒職員にも共有して、実現できるよう取り組みます
- ・ グループホームへ移行した際、食事は足りているのか、もっと食べたいという声あるのか。米の価格が上がっているが農家などと提携しているのか。
⇒基本のメニュー、量は決まった範囲でカロリー計算された献立になる。他に自分で好きなものを購入したり、週末の移動支援を利用して、外出先で好きなものを召し上がったりすることもできる。米の値段は昨年度とくらべて2倍。園の食事は委託業者に提供してもらっており農家との提携ではないが、園の持ち出しで対応している。

(2) 法人改革・愛名改善等実行プランの進捗と園の取組みについて

【委員のご意見】

- ・プランの取り組み状況の説明があったが、現場の職員がどのように受けてめているかが大事。取り組みが疲弊感につながらないように、現場の実態、不満を受け止めてすすめてほしい。
- ・外部のアドバイザーがたくさんはいり、いろいろな視点でアドバイスが入っているが、職員が混乱しないようベクトルを合わせてほしい。
- ・利用者の地域移行にあたり、園の主導で動いているように聞こえるが、相談支援専門員との連携を大切にすすめてほしい。
- ・傾聴ボランティアの受け入れとあるが、その際に苦情などあった場合の対応は？
⇒ 傾聴ボランティアのお話内容は、原則として守秘義務があるが、どうしても園に伝えなければいけない内容があれば、伝えていただきたいとおねがいしている。苦情関係について、厚木オンブズマンネットワーク(Aネット)に加入しており、毎月1回、相談員に来園いただき、利用者の話を聞いていただき、職員にフィードバックしていただいている。人権委員会で共有し、それぞれの対応、取り組み状況など確認し、相談員さんに報告している。
- ・地域移行について、なじめず合わなかった場合に、戻って来られる場を担保してほしい
- ・当事者の意見、コミュニケーションをとることが難しい利用者の意見をどのようにとりいれるか。
⇒ 表面上のやりとりだけではなく、成育歴や今までの経験などをご家族からお話を伺ったり、経験や体験したときの表情や反応など丁寧に記録を積み重ね、くみ取っていくことを、職員がチームで本人に焦点をあてて積み重ねている。
- ・地域との関りは、園の外に場所を変えて取り組むだけでは変わらない。地域の住民と直接関わっていくこと、学校で子どもたちと障がいのある方が交流していくこと大事。
- ・利用者の外出時のお小遣いや金銭管理はどうしているのか
⇒ ご本人の年金を使用している。金銭にかかる事故を防止する観点から、法人として、なるべく利用者の通帳や現金を直接お預かりすることは控えるようにしている。外出時等の利用者が使うお金については、園が施設会計から立替えて、出納簿と領収書台帳を個別に作成し、月ごとに利用者に請求している。

(3) その他

- ①施設訪問の日程調整について ⇒ 12月に実施予定